

第 87 回（一社）日本脳神経外科学会 中国四国支部学術集会

プログラムおよび講演要旨

2019年4月6日（土）・7日（日）

会場 徳島大学蔵本キャンパス
藤井節郎記念医科学センター

〒770-8503 徳島県蔵本町3丁目18番地の15

会長 高木 康志
(徳島大学 脳神経外科)

会場のご案内

蔵本キャンパスマップ

駐車場をご利用の際は、サービス券をご用意いたしますので申し付けください。
藤井節郎記念 医科学センター（会場）内には、土・日 玄関のみしか入れません。

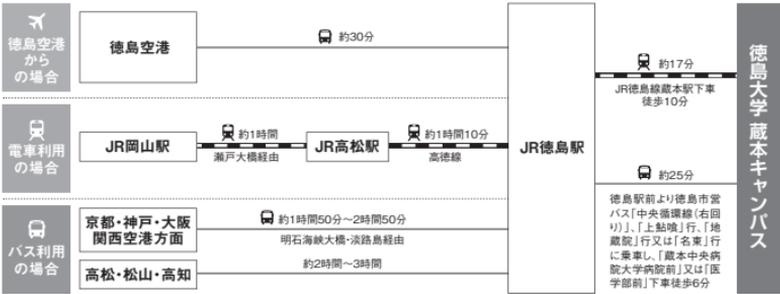


大会 会場

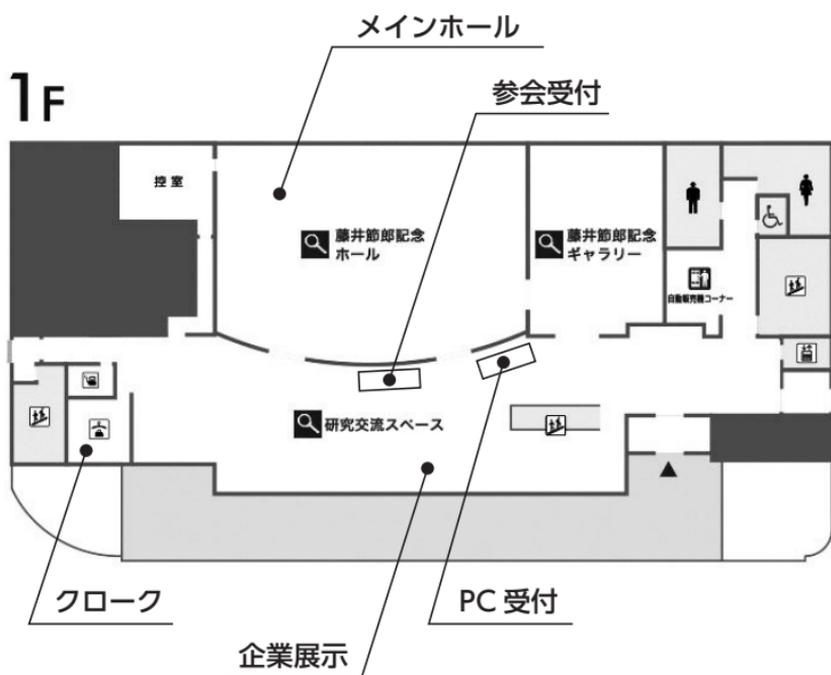
藤井節郎記念 医科学センター

徳島大学 蔵本キャンパス内
徳島市蔵本町3-18-15



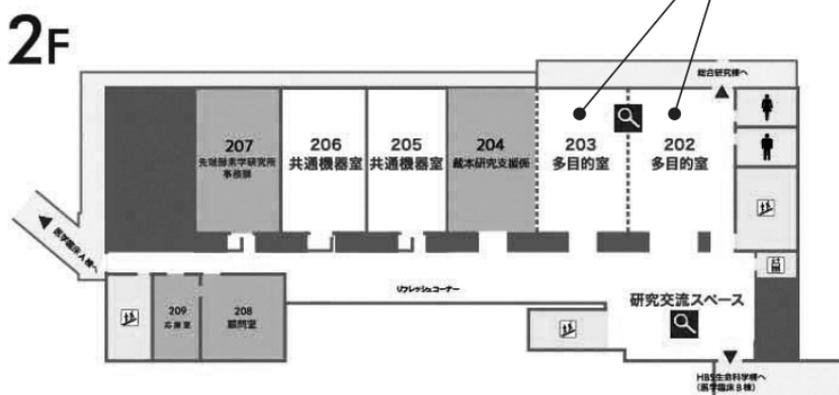


会場案内図



医療安全講習会会場 4月6日 11:30~12:30

FD講習会会場 4月6日 16:50~17:50



ご 案 内

参加者の皆様へ

- ・ 4月6日(土) 11:00~16:50、4月7日(日) 8:00~12:05にて参会受付をいたします。
- ・ 参会受付は、(一社)日本脳神経外科学会 IC 会員カードを利用いたします。 IC 会員カードをお持ちの方は、必ずご持参の上、受付にてご自身の IC 会員カードを IC カードリーダーに読み取らせ、参会受付、専門医クレジット(専門医の方のみ)の登録を行ってください。その後、ネームカード(領収証)をお渡しします。IC 会員カードをお持ちでない方は、受付にてお申し出ください。
- ・ 参加費(2,000円)は、現金でお支払いいただきますようお願いいたします。クレジットカード決済は受け付けできません。
- ・ 会場内ではネームカード(領収証)に所属・氏名を記入のうえ、必ず携帯してください。
- ・ ネームカード(領収証)の再発行はできませんので大切に保管してください。
- ・ プログラムおよび講演要旨集は学会当日に必ずご持参ください。ご希望の方には、受付にて1部1,000円で販売いたしますが、ご用意できる数には限りがありますのでご了承ください。

座長・コメンテーターの皆様へ

- ・ 担当セッション開始10分前までに、次座長席にお着きください。
- ・ コメンテーターの方は、各セッション終了時に1分程度でセッション全体のコメントをお願いします。

演者の皆様へ

講演時間 6分

討論時間 2分

コメンテーターによるコメント 1分

発表形式：PC プレゼンテーション

- ・ご発表の15分前までに次演者席にお着きください。
- ・ご発表の1時間前(最初のセッションは20分前)までに会場前のPC受付にて受付を行ってください。
- ・ご発表データにつきましては、Windows PowerPoint 2003～2017のバージョンで作成してください。ただし動画を含む場合や、Macintoshをご使用の方は、ご自身のPC本体をお持ち込みください。
- ・フォントは特殊なものではなく、PowerPointに設定されている標準フォントをご使用ください。また、ご自身のPC以外でも文字化け等がなくデータを読み込めるかどうかを事前にご確認ください。
- ・当日の発表の際の操作は発表者にて行っていただきます。
- ・ご発表のデータは学会終了後、事務局で責任を持って消去いたします。
- ・PC本体をお持ち込みの場合には、以下お気をつけください。
 - *PC受付(会場前)にて、必ず試写をおこなってください。
 - *会場でご用意するPCケーブルコネクタの形状は、D-SUB mini 15pinです。この出力端子をもつパソコンをご用意いただくか、この形状に変換するコネクタを必要とする場合には必ずご持参ください。



(図)

*電源ケーブルはお忘れ無くお持ちください。

*HDMI 端子についても、同様に変換ケーブルをお持ちください。

- ・発表スライドの1枚目に、筆頭演者のCOI状態について開示するスライドの作成をお願いいたします。詳細は日本脳神経外科学会ホームページまたは以下の「COI状態の開示について」をご参照ください。

COI状態の開示について

一般社団法人日本脳神経外科学会では利益相反「Conflict of Interest」(以下「COI」と略す)状態を適切にマネジメントする「医学研究のCOIに関する指針および細則」を定めました(平成24年1月1日より施行)。

これにより、本会では、すべての発表者に対して、発表スライドの2枚目(タイトルの後)に利益相反の開示を必ず掲示いただきます。掲示の様式は次の通りです。

詳細および様式のテンプレートにつきましては、日本脳神経外科学会ホームページ(<http://jns.umin.ac.jp/>)をご覧ください。

※過去3年間のCOI自己登録が完了していない場合には、演題登録・学会発表が行えません。

演題発表に際してのCOI開示例

1) 開示すべきCOIがない場合のスライド

開示すべきCOIがない場合のスライド	様式1
脳動脈瘤の外科治療(演題名)	
日本脳神経外科病院(施設名)	
脳外科 太郎(氏名)	
筆頭演者は日本脳神経外科学会へ過去3年間のCOI自己申告を完了しています 本演題の発表に際して開示すべきCOIはありません	

2) 開示すべき COI がある場合のスライド

開示すべきCOIがある場合のスライド

脳動脈瘤の外科治療(演題名)

日本脳神経外科病院(施設名)

脳外科 太郎(氏名)

筆頭演者は日本脳神経外科学会へ過去3年間のCOI自己申告を完了しています

開示すべきCOIがある場合のスライド

筆頭演者のCOI開示

日本脳神経外科学会へのCOI自己申告を完了しており、
過去3年間(いずれも1月～12月)において本講演に関して開示すべきCOIは以下の通りです

1. 役員、顧問職	なし	} 金額は開示不要
2. 株の保有	なし	
3. 特許権使用料	なし	
4. 講演料	あり(〇〇製薬)	
5. 原稿料	なし	
6. 研究費	あり(〇〇製薬)	
7. その他	なし	

日本脳神経外科病院(施設名)

脳外科 太郎(氏名)

寄付講座在籍の研究者や奨学寄附金などの外部資金によって
雇用されている研究者からの演題応募の場合には、
所属は母教室ではなく、所属施設・機関で使われる正式名称を記載し
その資金を提供している企業名を併記することが求められる

寄付講座のみ表記

〇〇大学 YZ寄付講座(同寄付講座はA製薬の寄付金にて支援されている)

or

寄付講座と母教室の併記

〇〇大学 脳神経外科・YZ寄付講座(同寄付講座はA製薬の寄付金にて支援されている)

複数の企業からの寄付金や外部資金による場合は
年間200万円以上の企業については該当する企業名をすべて記載

医療安全講習会

4月6日（土） 11:30～12:30

FD講習会

4月6日（土） 16:50～17:50

- ・ 藤井節郎記念医科学センター（202・203号室）にて開催いたします。
- ・ 医療安全講習会およびFD講習会の受講は、学術集会参加者を対象とします。受付は講習開始 20 分前から講習会会場前にて行います。
- ・ 受講確認は、（一社）日本脳神経外科学会 IC 会員カードを利用します。参会受付だけでなく、講習受付にて IC 会員カードによる受講記録が必要になります。受講希望の方はご自身の IC 会員カードをお持ちください。IC 会員カードをお持ちでない方は、受付にてお申し出ください。
- ・ 本学術集会では、日本脳神経外科学会学術総会または日本脳神経外科コンgresにおいて行われた医療安全講習およびFD講習をビデオ上映いたします。
- ・ 最初から最後まで視聴していただくことを受講要件としますので、途中入退室はできません。

単位取得について

- ・当支部学術集会参加単位は1単位です。生涯教育クレジット10点も付与されます。
- ・医療安全講習（4月6日（土）11：30～12：30）
専門医資格更新に必要な「専門医共通講習」1単位の取得が可能となります（「領域講習」の単位は付与されません）。日本脳神経外科学会ホームページ会員専用ページより e-learning でも受講できます。
- ・FD講習（4月6日（土）16:50～17:50）
専門医資格更新に必要な「領域講習」1単位取得と指導医認定（更新）に必要な受講歴となります。

支部理事会

4月6日(土) 16:50~17:50

医学部第2会議室にて行います。支部理事の方はご参集ください。

第86回(一社)日本脳神経外科学会中国四国支部学術集会 優秀論文賞受賞者表彰式および受賞講演

4月6日(土) 16:10~16:30

開催日:平成30年12月8日(土)

会長:國枝 武治 先生(愛媛大学 脳神経外科)

優秀論文賞受賞演題と演者:

演題番号 1

集学的治療が著効した悪性神経膠腫の脊髄転移の一例

柴垣 慶一 先生

(済生会今治病院 脳神経外科)

演題番号 12

多発全身転移をきたした atypical meningioma の1例

土師 康平 先生

(山口大学大学院医学系研究科 脳神経外科)

演題番号 19

大槽-腹腔シャント造設後に難治性腹水と陰嚢水腫を合併した両側脈絡叢過形成の一例

胡谷 侑貴 先生

(岡山医療センター 脳神経外科)

- ・受賞者の先生方は、受賞講演（5分程度）をお願いいたします。ご発表前、1時間前までに会場前のPC受付にて動作確認を行って下さい。

（ ） 支部学術集会発表時所属

過去優秀論文賞受賞者リスト

第75回 平成25年4月6日(土)・7日(日)

- 高井 洋樹 先生 (川崎医科大学 脳神経外科)
今田 裕尊 先生 (東広島医療センター 脳神経外科)
西本 陽央 先生 (社会医療法人近森会近森病院 脳神経外科)

第76回 平成25年12月7日(土)

- 村上 太郎 先生 (広島市立安佐市民病院 脳神経外科)
近藤 聡彦 先生 (岡山大学大学院 脳神経外科)
江田 大武 先生 (島根大学医学部 脳神経外科)

第77回 平成26年4月5日(土)・6日(日)

- 瀬山 剛 先生 (松山赤十字病院 脳神経外科)
米澤 公器 先生 (呉医療センター・中国がんセンター 脳神経外科)
山口 真司 先生 (徳島大学 脳神経外科)

第78回 平成26年12月6日(土)

- 藤森 健司 先生 (香川県立中央病院 脳神経外科)
山根 亜希子 先生 (山口大学大学院医学系研究科 脳神経外科)
桑原 政志 先生 (東広島医療センター 脳神経外科)

第79回 平成27年4月11日(土)・12日(日)

- 小割 健太郎 先生 (岡山旭東病院 脳神経外科)
米澤 潮 先生 (島根県立中央病院 脳神経外科)
畝田 篤仁 先生 (香川労災病院 脳神経外科)

第80回 平成27年12月5日(土)

- 木下 景太 先生 (川崎医科大学 脳神経外科)
西川 真弘 先生 (愛媛大学大学院医学系研究科 脳神経外科学)
松田 拓 先生 (徳島赤十字病院 脳神経外科)

第81回 平成28年4月2日(土)・3日(日)

村井 智 先生 (岩国医療センター 脳神経外科)

大庭 秀雄 先生 (東広島医療センター 脳神経外科)

辻 将大 先生 (島根大学医学部 脳神経外科)

第82回 平成28年12月3日(土)

萩原 伸哉 先生 (島根大学医学部 脳神経外科)

榎本 紀哉 先生 (徳島大学 脳神経外科)

原 慶次郎 先生 (川崎医科大学 脳神経外科)

第83回 平成29年4月8日(土)・9日(日)

佐々木 達也 先生 (岡山大学 脳神経外科)

森田 匠 先生 (倉敷中央病院 脳神経外科)

申原 義啓 先生 (寺岡記念病院 脳神経疾患治療センター)

第84回 平成29年12月9日(土)

小川 祐佳里 先生 (川崎医科大学 脳神経外科)

奥 高行 先生 (済生会下関総合病院 脳神経外科)

高田 賢介 先生 (倉敷中央病院 脳神経外科)

第85回 平成30年4月7日(土)・8日(日)

竹村 光広 先生 (高知県・高知市病院企業立高知医療センター 脳神経外科)

船橋 卯 先生 (岡山東部脳神経外科病院)

井上 明宏 先生 (愛媛大学大学院医学系研究科 脳神経外科学)

() 支部学術集会発表時所属
支部学術集会演題番号順掲載

日程表

1日目：4月6日(土)		2日目：4月7日(日)	
		9:00	一般演題 5 「脳腫瘍」 座長：三宅啓介 コメンテーター：黒住和彦
		10:00	一般演題 6 「脊髄」 座長：五島久陽 コメンテーター：八木謙次
		10:50	
		11:00	一般演題 7 「脳動脈瘤」 座長：松原俊二 コメンテーター：太田剛史
11:30	医療安全講習会 (202・203号室)	11:40	一般演題 8 「血管障害 2」 座長：渡邊英昭 コメンテーター：河北賢哉
12:30		12:20	閉会の辞 会長：高木康志
12:55	閉会の辞 会長：高木康志	12:25	
13:00	一般演題 1 「頸動脈」 座長：兼松康久 コメンテーター：石橋良太		
13:40	一般演題 2 「外傷・機能」 座長：野村貞宏 コメンテーター：宮崎健史	13:30	市民公開講座 (長井記念ホール)
14:30			
14:40	一般演題 3 「血管奇形」 座長：菱川朋人 コメンテーター：坂本 誠		
15:20	一般演題 4 「血管障害 1」 座長：井川房夫 コメンテーター：福井直樹	15:30	
16:00			
16:10	優秀論文表彰式・受賞講演		
16:30			
16:50	FD講習会 (202・203号室) 支部理事会 (医学部第2会議室)		
17:50			

プログラム

4月6日(土) 会場：202・203号室

11:30～12:30 医療安全講習会

4月6日(土) 会場：藤井節郎記念ホール

12:55～13:00 開会の辞

会長：高木 康志 (徳島大学)

13:00～13:40 一般演題 1 「頸動脈」

座長：兼松 康久 (徳島大学)

コメンテーター：石橋 良太 (倉敷中央病院)

01 中脳大脳動脈閉塞を伴ったCAS後再閉塞に対して血栓回収術と頸動脈ステント留置術を併用した1例

木内 智也、宇山 慎一、宮本 理司、上田 博弓
徳島市民病院脳神経外科

02 CAS術後にステント内狭窄をきたしCEAを必要とした1例

三宅 一央、佐藤 裕一、依田 啓司
徳島県立三好病院脳神経外科

03 特発性頸動脈解離に対し4本のステントを連結留置して治療した1例

三好 浩之、渡邊 陽祐、梶原 佳則、武智 昭彦
松山赤十字病院脳神経外科

04 頸動脈露出後、逆行性にステント留置術を行った腕頭動脈狭窄症の1例

下永 皓司、橋本 幸繁、細貝 昌弘、松重 俊憲、溝上 達也
広島市立安佐市民病院脳神経外科

13:40～14:30 一般演題 2 「外傷・機能」

座長：野村 貞宏 (山口大学)

コメンテーター：宮寄 健史 (島根大学)

05 帽状腱膜下血腫から進展した硬膜外血腫の1例

畠田 昇一、谷口 秀和、萩野 寛隆、曾我部 周

四国こどもとおとなの医療センター脳神経外科

06 合併症管理を視野に入れた急性期後頭蓋窩減圧開頭術

土師 康平、五島 久陽、藤山 雄一、末廣 栄一、鈴木 倫保

山口大学大学院医学系研究科脳神経外科

07 通常と異なる顔面神経走行を呈した片側顔面痙攣に対する手術経験

籾 拓郎、富永 篤、竹下 真一郎、岐浦 禎展、迫口 哲彦、

近藤 浩、前田 雄洋、前田 祐吾

県立広島病院脳神経外科脳血管治療科

08 脳の安静時機能的連結性の臨床導入

氏家 弘¹⁾、則兼 博¹⁾、松田 文孝¹⁾、松井 雅樹¹⁾、大田 藍李²⁾、
粟津 俊二³⁾、赤間 啓之²⁾

1) 医療法人ブルースカイ松井病院脳神経外科

2) 東京工業大学

3) 実践女子大学

09 脳アミロイドアンギオパチー関連白質脳症の一例

隅田 昌之¹⁾、松本 敦仁¹⁾、露口 冴¹⁾、向井 達也²⁾

1) 広島赤十字・原爆病院脳神経外科

2) 広島赤十字・原爆病院脳神経内科

14:40～15:20 一般演題 3 「血管奇形」

座長：菱川 朋人 (岡山大学)

コメンテーター：坂本 誠 (鳥取大学)

10 診断に苦慮した小児血管奇形

長光 逸、安田 浩章、金子 奈津江、長綱 敏和、浦川 学、

藤井 正美、山下 哲男

山口県立総合医療センター脳神経外科

11 髄内出血で発症した頭蓋頸椎移行部硬膜外動静脈瘻の一例

駿河 和城、井上 智、永瀬 喬之、平野 秀一郎、高杉 祐二、

渡邊 恭一、桐山 英樹、徳永 浩司、松本 健五

岡山市立市民病院脳神経外科

12 Onyx 塞栓術を施行した硬膜動静脈瘻の 2 例

蔭山 彩人、佐藤 浩一、花岡 真実、倉敷 佳孝、松崎 和仁
徳島赤十字病院脳神経外科

13 横 S 状静脈洞部硬膜動静脈瘻の一例

小柳 侑也、中村 隆治、尾中 貞夫
下関市立市民病院脳神経外科

15:20～16:00 一般演題 4 「血管障害 1」

座長：井川 房夫（島根県立中央病院）

コメンテーター：福井 直樹（高知大学）

14 妊娠初期の妊婦に対し急性期再開通療法を施行した一例

藤原 聡¹⁾、福本 真也¹⁾、麻生 健伍²⁾、日下部 公資¹⁾、
篠原 朋生¹⁾、尾上 信二¹⁾、市川 晴久¹⁾、岩田 真治¹⁾、
大上 史朗¹⁾、河野 兼久¹⁾、岡本 憲省³⁾、近藤 総一³⁾、
渡部 真志³⁾

1) 愛媛県立中央病院脳卒中センター脳神経外科

2) 済生会今治病院脳神経外科

3) 愛媛県立中央病院脳卒中センター神経内科

15 潰瘍性大腸炎に合併した脳梗塞の 1 例

亘 雄也、庄野 健児、田村 哲也、高瀬 憲作、新野 清人
徳島県立中央病院脳神経外科

16 重症低血糖発作に誘発された心原性脳塞栓症

小山 広士、大北 真哉、白川 典仁
高松市立みんなの病院脳神経外科

17 ヘパリン起因性血小板減少症 (HIT) による肺塞栓症を合併した 脳梗塞の 1 例

佐藤 泰仁¹⁾、瀬部 彰¹⁾、河野 和弘²⁾

1) 吉野川医療センター脳神経外科

2) 吉野川医療センター循環器科

16:10～16:30 「優秀論文表彰式・受賞講演」

16:50～17:50 「FD 講習会」

16:50～17:50 「支部理事会」

9:00~10:00 一般演題5「脳腫瘍」

座長：三宅 啓介 (香川大学)

コメンテーター：黒住 和彦 (岡山大学)

- 18 Trains of five(TO5)が錐体路同定に有用であった中心溝近傍に腫瘍を伴う乳児てんかん外科手術の1例
瀬山 剛¹⁾、飯田 幸治¹⁾、香川 幸太¹⁾、橋詰 顕¹⁾、岡村 朗健¹⁾、石川 暢恒²⁾、小林 良行²⁾、谷 博雄²⁾、立石 裕一²⁾、栗栖 薫¹⁾
1) 広島大学大学院医歯薬保健学研究科脳神経外科学
2) 広島大学大学院医歯薬保健学研究科小児科学
- 19 出血発症後、水頭症をきたした中脳背側海綿状血管腫の外科治療
坪井 俊之、梶原 洋介、茶木 隆寛、向田 一敏、梶原 四郎
五日市記念病院脳神経外科
- 20 高齢のエホバの証人信者に発生したトルコ鞍上部腫瘍－低侵襲で最大限の治療効果を目指した治療戦略－
大塚 翔¹⁾、井上 明宏¹⁾、岩田 真治²⁾、安岐 智晴¹⁾、末廣 諭¹⁾、松本 調¹⁾、渡邊 英昭¹⁾、大西 丘倫³⁾、國枝 武治¹⁾
1) 愛媛大学大学院医学系研究科脳神経外科学
2) 愛媛県立中央病院脳卒中センター脳神経外科
3) 医療法人和昌会貞本病院
- 21 水頭症で発症した大型充実性小脳血管芽腫の一例
政平 訓貴、太田 剛史、岡田 憲二、津野 隆哉、福田 真紀、松岡 賢樹、竹村 光広
高知県・高知市病院企業団立高知医療センター
- 22 悪性嚢胞性脳腫瘍(MCBT)の摘出にフィブリン糊と自己血が有用であった一例
長尾 裕一郎、中島 定男、鳥橋 孝一、吉岡 裕樹、宇野 哲史、神部 敦司、坂本 誠、黒崎 雅道
鳥取大学医学部脳神経外科
- 23 内視鏡下経蝶形骨洞腫瘍摘出術中に広範な脳虚血をきたしたもやもや病に合併した下垂体腺腫の一例
藤井 謙太郎、黒住 和彦、菱川 朋人、伊達 勲
岡山大学大学院脳神経外科

座長：五島 久陽 (山口大学)

コメンテーター：八木 謙次 (川崎医科大学)

24 脊髄硬膜外くも膜嚢胞の1手術例

柚木 正敏、川井 伸彦、藪野 論、松本 淳志、平下 浩司、
吉野 公博

労働者健康福祉機構 香川労災病院脳神経外科

25 脳脊髄液漏出症の好発部位について

中居 永一¹⁾、金子 昌憲¹⁾、細川 雄慎¹⁾、帆足 裕¹⁾、
濱田 史泰¹⁾、野中 大伸¹⁾、上羽 佑亮¹⁾、門田 知倫²⁾、
福田 仁¹⁾、福井 直樹¹⁾、上羽 哲也¹⁾

1) 高知大学医学部脳神経外科

2) 高知大学救命救急部

26 Dermal sinus を合併しない congenital intramedullary spinal epidermoi

江田 大武、内村 昌裕、安田 慎一、神原 瑞樹、吉金 努、
萩原 伸哉、永井 秀政、秋山 恭彦

島根大学医学部脳神経外科

27 HAL 腰タイプ自立支援用を使用することで歩行機能が改善した頸髄症の1例

篠原 直樹¹⁾、松井 誠司²⁾

1) 社会医療法人石川記念会 HITO 病院脳卒中センター脳神経外科

2) 愛媛大学医学部脳神経外科

28 上矢状静脈洞血栓症に対する血栓回収療法後に脳下垂を来たし、脳脊髄液漏出症が判明した一例

松田 拓¹⁾、牟礼 英生¹⁾、福本 竜也²⁾、山本 雄貴²⁾、
兼松 康久¹⁾、高木 康志¹⁾

1) 徳島大学脳神経外科

2) 徳島大学神経内科

11:00～11:40 一般演題 7 「脳動脈瘤」

座長：松原 俊二（川崎医科大学）

コメンテーター：太田 剛史（高知医療センター）

29 無症候性頸部内頸動脈瘤に対してステント併用下コイル塞栓術で治療した一例

落合 淳一郎¹⁾、貞友 隆²⁾、原 健司²⁾、大西 俊平²⁾、坂本 繁幸³⁾

1) 東広島医療センター脳神経外科

2) 東広島医療センター脳神経外科

3) 広島大学医歯薬保健学科研究院脳神経外科

30 コイル塞栓術が不可能であった脳底動脈回旋枝の末梢性破裂動脈瘤に対してステント留置術を施行した1例

井上 陽平、日下 昇、生島 健太、枝木 久典、菅原 千明、
新治 有径、伊丹 尚多、大塚 真司、西浦 司、荻原 浩太郎
岩国医療センター脳神経外科

31 破裂脳動脈瘤症例の小型化、高齢化、更なる女性化～単一施設40年間分の長期データの解析結果より～

大庭 秀雄¹⁾、井川 房夫¹⁾、日高 敏和¹⁾、吉山 道貫¹⁾、
松田 真伍¹⁾、谷口 洋樹¹⁾、いな川 哲二²⁾

1) 島根県立中央病院脳神経外科

2) 医療法人光臨会荒木脳神経外科病院

32 ステント併用コイル塞栓術によって治療した破裂内頸動脈血豆状動脈瘤の1例

上田 猛、大庭 信二、伊藤 陽子、米澤 公器、高橋 宏輝
呉医療センター・中国がんセンター脳神経外科

11:40～12:20 一般演題 8 「血管障害 2」

座長：渡邊 英昭（愛媛大学）

コメンテーター：河北 賢哉（香川大学）

33 肺癌化学療法中に多発脳出血が認められた1例

岡崎 三保子、谷本 駿、兼田 圭介、清水 俊彦、西田 あゆみ、
神原 啓和

岡山赤十字病院脳神経外科

**34 延髄外側症候群後、重篤な呼吸失調を来たし、予後不良となった
2例**

田尾 良文、松原 俊二、木下 景太、平井 聡、高井 洋樹、
原 慶次郎、八木 謙次、宇野 昌明
川崎医科大学脳神経外科

35 バセドウ病に併発した脳静脈血栓症の1例

松村 光¹⁾、宍戸 肇²⁾、河北 賢哉²⁾、黒田 泰弘³⁾、田宮 隆¹⁾

1) 香川大学医学部脳神経外科

2) 香川大学医学部脳神経外科 香川大学医学部附属病院救命救急
センター

3) 香川大学医学部附属病院救命救急センター

**36 上矢状静脈洞の完全閉塞から脳内出血をきたし減圧開頭により
救命しえた脳静脈洞血栓症の一例**

劔持 直也、三野 智、西廣 真吾、藏本 智士、勝間田 篤、
市川 智継、小野 恭裕、合田 雄二、河内 正光
香川県立中央病院脳神経外科

12:20～12:25 「閉会の辞」

座長：高木 康志（徳島大学）

4月7日（日）

会場：長井記念ホール

13:30～15:30 「市民公開講座」
